



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,670	△7.6	25	△31.8	33	△27.7	2	△84.1
29年3月期第2四半期	2,889	△0.0	37	76.7	46	53.4	15	186.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.29	—
29年3月期第2四半期	1.83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	4,665	1,836	39.4	220.62
29年3月期	4,648	1,847	39.7	222.58

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,836百万円 29年3月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年3月期	—	2.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	4.0	130	13.6	145	8.9	55	12.3	6.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	11,660,734株	29年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,336,447株	29年3月期	3,361,525株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	8,311,356株	29年3月期2Q	8,320,532株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等による企業業績の改善、良好な雇用状況が下支えとなり、緩やかな回復基調が継続しました。一方では、欧米などの世界情勢の不安定化により、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、ボトルのリターナブルによるTwo-Way方式の拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式において営業エリア拡大と顧客数の増加などにより事業拡大に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,670百万円(前年同期比7.6%減)、営業利益は25百万円(前年同期比31.8%減)、経常利益は33百万円(前年同期比27.7%減)、四半期純利益は2百万円(前年同期比84.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、前期導入した新小売システムにより、今後の更なる顧客サービスの追及と営業効率の改善が行えるようになりました。また、シニア社員の登用や、女性社員を積極的に採用し、お客様の多様なニーズに対応できるよう営業職層の拡大と労働環境の整備に努めて参りました。売上高につきましては、家庭医薬品等販売事業の小売部門において、顧客の世代交代に対応するため全社的に新規開拓を行い、総顧客数は概ね維持する事が出来たものの継続顧客の減少を補うだけの新規顧客への販売が伸びず、減収となりました。

卸売部門においては、新たにフランチャイズ契約を締結した(株)仙台中京医薬品や(株)栃木中京医薬品への卸売販売が増加しております。

その結果、売上高は2,335百万円(前年同期比8.6%減)、セグメント損失30百万円(前年同期は、セグメント利益15百万円)となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。

その結果、売上高は334百万円(前年同期比0.3%増)、セグメント利益56百万円(前年同期比151.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,150百万円となり、前事業年度末に比べ46百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加21百万円、現金及び預金の増加16百万円及び商品及び製品の減少28百万円によるものであります。固定資産は2,514百万円となり、前事業年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の減少16百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,665百万円となり、前事業年度末に比べ16百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,082百万円となり、前事業年度末に比べ111百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加110百万円、支払手形及び買掛金の増加31百万円及び賞与引当金の減少48百万円によるものであります。固定負債は745百万円となり、前事業年度末に比べ84百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少72百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,828百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,836百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に自己株式の減少7百万円、利益剰余金の減少19百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.4%(前事業年度末は39.7%)、1株当たり純資産額は220.62円(前事業年度末は222.58円)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成29年10月27日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	737,351	753,923
受取手形及び売掛金	416,750	438,418
商品及び製品	410,250	382,228
委託商品	372,908	377,135
仕掛品	127	100
原材料及び貯蔵品	23,659	28,498
その他	146,185	174,062
貸倒引当金	△3,554	△4,148
流動資産合計	2,103,678	2,150,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	617,102	600,991
土地	1,313,150	1,313,150
その他（純額）	82,176	69,733
有形固定資産合計	2,012,429	1,983,875
無形固定資産	167,202	149,576
投資その他の資産		
前払年金費用	75,396	79,459
その他	294,901	306,885
貸倒引当金	△4,799	△4,889
投資その他の資産合計	365,498	381,455
固定資産合計	2,545,130	2,514,907
資産合計	4,648,809	4,665,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	407,640	439,184
短期借入金	720,000	830,000
1年内返済予定の長期借入金	193,968	210,624
未払法人税等	64,606	33,594
賞与引当金	161,070	112,690
返品引当金	20,501	6,317
その他	403,830	450,292
流動負債合計	1,971,616	2,082,702
固定負債		
長期借入金	327,192	254,988
退職給付引当金	144,211	144,321
株式給付引当金	5,585	8,427
資産除去債務	4,601	4,626
長期未払金	232,720	232,720
その他	115,639	100,864
固定負債合計	829,950	745,949
負債合計	2,801,566	2,828,651

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,734,819	1,715,382
自己株式	△1,000,131	△993,084
株主資本合計	1,839,877	1,827,487
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,365	8,988
評価・換算差額等合計	7,365	8,988
純資産合計	1,847,242	1,836,475
負債純資産合計	4,648,809	4,665,127

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
売上高	2,889,927	2,670,542
売上原価	818,570	759,362
売上総利益	2,071,357	1,911,179
販売費及び一般管理費	2,033,984	1,885,676
営業利益	37,373	25,503
営業外収益		
受取利息	52	81
受取配当金	1,275	1,151
受取家賃	7,101	6,837
事故保険金	2,416	183
その他	1,604	2,116
営業外収益合計	12,451	10,370
営業外費用		
支払利息	2,785	2,247
支払手数料	46	—
為替差損	463	—
その他	0	0
営業外費用合計	3,295	2,248
経常利益	46,529	33,625
特別利益		
固定資産売却益	2,295	—
特別利益合計	2,295	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	100
減損損失	853	—
特別損失合計	853	100
税引前四半期純利益	47,970	33,525
法人税、住民税及び事業税	20,106	19,642
法人税等調整額	12,636	11,469
法人税等合計	32,742	31,112
四半期純利益	15,227	2,413

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	47,970	33,525
減価償却費	46,274	52,230
減損損失	853	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△686	682
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△23	109
株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,091	2,841
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,010	△48,380
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△1,870
受取利息及び受取配当金	△1,328	△1,232
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,295	—
無形固定資産除却損	—	100
支払利息	2,785	2,248
売上債権の増減額(△は増加)	75,677	△21,667
たな卸資産の増減額(△は増加)	△227,944	18,983
仕入債務の増減額(△は減少)	80,870	31,544
その他	7,729	8,781
小計	15,963	77,898
利息及び配当金の受取額	1,268	1,191
利息の支払額	△2,785	△2,248
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△20,475	△49,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,028	27,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,801	△19,800
定期預金の払戻による収入	19,200	32,236
有形固定資産の取得による支出	△11,377	△2,705
有形固定資産の売却による収入	4,027	—
貸付けによる支出	△3,000	△5,000
貸付金の回収による収入	200	508
その他	△18,693	△16,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,444	△11,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△40,000	110,000
長期借入れによる収入	68,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△117,133	△105,547
リース債務の返済による支出	△24,586	△26,497
自己株式の取得による支出	△49	—
自己株式の売却による収入	5,608	7,047
配当金の支払額	△21,350	△21,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129,511	13,152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△164,984	29,008
現金及び現金同等物の期首残高	707,735	559,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	542,751	588,281

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,236,467	318,304	333,207	2,887,979	1,947	2,889,927
計	2,236,467	318,304	333,207	2,887,979	1,947	2,889,927
セグメント利益 又は損失(△)	△5,340	20,392	22,321	37,373	—	37,373

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（主な減損損失）

「売水事業部部門」セグメントにおいて、減損損失853千円を計上しております。

II 当第2四半期累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,081,873	253,158	334,332	2,669,365	1,176	2,670,542
計	2,081,873	253,158	334,332	2,669,365	1,176	2,670,542
セグメント利益 又は損失(△)	△24,711	△5,838	56,052	25,503	—	25,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。